平成26年10月23日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構

News Release

長期使用製品安全点検制度対象製品の経年劣化による事故の防止（注意喚起）

平成 19 年に発生した小型ガス湯沸器等の経年劣化による重大な事故を背景に、長期使用に伴う経年劣化によって重大な被害を起こすおそれが高い製品（以下「特定保守製品」と呼ぶ。）について、経年劣化事故を未然に防止するための制度として、「長期使用製品安全点検制度（別紙 1 参照）」が平成 21 年 4 月から始まっています。

［特定保守製品　対象品目（9 品目）］
屋内式ガスふろがま（都市ガス、LP ガス）、屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス、LP ガス）、石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機、浴室用電気乾燥機、ビルトイン式電気食器洗機

（図）共通ロゴマーク

この制度は、特定保守製品を購入した所有者が所有者情報を登録することによって、適切な時期に製造・輸入事業者から点検の通知や、リコール情報等の製品安全に関わるお知らせが所有者に送付される等、製品の保守を支援するための制度です。

事業者毎、製品毎に差はあるものの、所有者情報の累計登録率は平成 26 年 3 月時点で約 4 割であり、経年劣化事故を防ぐためには、確実に登録を行っていただくことが必要です。

特定保守製品は、住宅に設置される設備機器として長期にわたって使用される場合が多く、所有者自身による保守も難しいため、次のような経年劣化による事故[※1]が発生しています。

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報[※2]において、特定保守製品に相当する製品[※3]の経年劣化による事故は、平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 年間に合計 94 件[※4]発生しています。

被害状況別に見ると、軽傷事故 2 件、拡大被害[※5]35 件、製品破損 54 件、その他 3 件となっています。

特に屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器、石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機といった燃焼機器においては、使用する機会が増える秋から冬にかけて、事故の発生件数が増えています。また、これらの事故のほとんどが発火や焼損を伴っており、住宅火災や一酸化炭素中毒といった重大な被害へと至るおそれがあるため、注意が必要です。

【事故事例】

- 石油給湯機の電磁弁に使用されている部品（Oリング[※6]）が劣化して硬化、収縮し、器具内部に油漏れが発生し、引火して機器内部が焼損した。（製品破損、使用期間約 12 年）
- 長期使用によってガスふろがまの口火（種火）ノズル孔が詰まり、点火操作の繰り返しによって器具内に滞留した未燃ガスに爆発的に着火して、水や湿気によって腐食した前板に開いた孔から熱気が吹き出してやけどを負った。（軽傷、使用期間約 19 年）

長期使用に伴う経年劣化事故は、日常的な整備や定期的な点検を行うことで未然に防ぐことができます。特定保守製品を所有されている方においては、この制度に従って所有者情報の登録（所有者の責務）を行っていただき、また、制度が始まる以前に製造・輸入された特定保守製品に相当する製品を所有している方においても、製造・輸入事業者が任意で実施している点検を依頼し、製品の保守につとめていただくため、今回、経年劣化事故防止の注意喚起を行うこととしました。

（※1） 原則として、使用期間が10年以上の長期使用に関わる事故のうち、事故原因区分（別紙2参照）が製品の経年劣化（事故原因区分C）に加えて、設計、製造、表示に問題があった事故（事故原因区分A）においても経年劣化も関係すると判断された事故を対象とする。

また、使用期間が10年未満であっても、連続使用等によって経年劣化と判断されたものも含む。

（※2） 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

（※3） 長期使用製品安全点検制度の施行以前に製造・輸入された特定保守製品に相当する9品目

（※4） 平成26年8月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

（※5） 製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

（※6） 石油機器やガス機器の燃料供給接続部分に使用されるOリング状の燃料漏れ防止用ゴムパッキン。

１．事故の発生状況（全体）

NITE に通知された製品事故情報のうち、特定保守製品に相当する製品の長期使用に伴う経年劣化による事故※1 は、平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 年間に合計 94 件ありました。

（１）　年度別 事故発生件数

図 1 に「年度別事故発生件数」を示します。

年度毎に若干の増減があるものの、過去 5 年間では毎年 20 件程度の事故が発生しています。

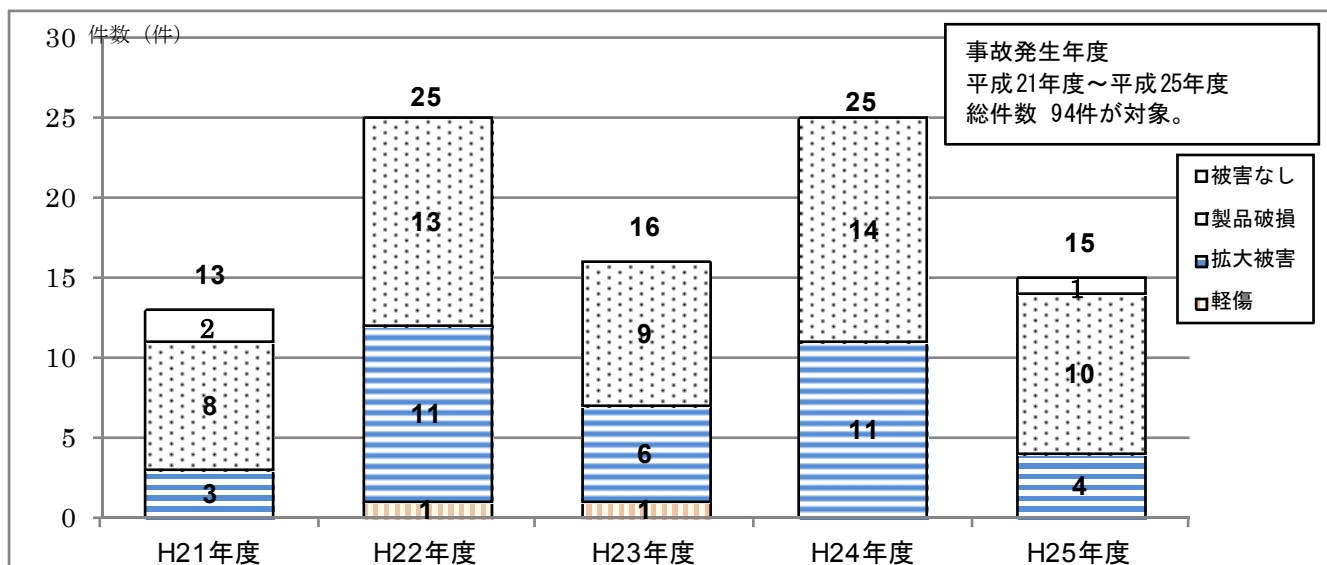



図 1　年度別事故発生件数

（２）　月別 事故発生件数

図 2 に「月別事故発生件数」を示します。

屋内式ガスふろがまや屋内式ガス用瞬間湯沸器、石油ふろがま、石油給湯機、密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機といった燃焼機器において、秋から冬の季節に使用が増えるため、10 月頃から事故発生件数が増加し、12 月に最も事故発生件数が多くなっています。

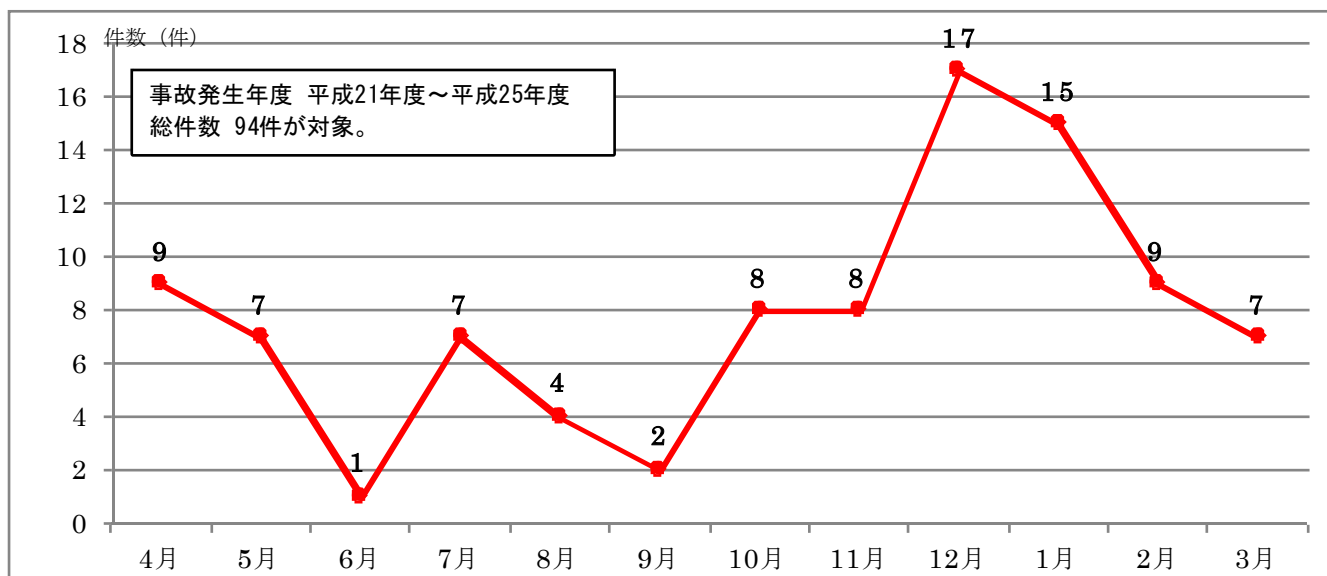



図 2　月別事故発生件数

（３）　製品別 被害状況別 事故件数

表１に「製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

製品別の事故件数を見ると、石油給湯機による事故が最も多く５２件発生しています。次いで屋内式ガス用瞬間湯沸器の事故が多く発生しています。

殆どの事故が物的被害に留まっていますが、発火や焼損等を伴っており、住宅火災や一酸化炭素中毒等の重篤な被害へと至るおそれがあり、注意が必要です。

表１　製品別 被害状況別 事故件数※7

被害状況 ＼ 製品の種類	人的被害			物的被害		被害なし	合計
	死　亡	重　傷	軽　傷	拡大被害	製品破損		
屋内式ガスふろがま （都市ガス、LP ガス）			1 （ 1 ）		8		9 （ 1 ） ［ 0 ］
屋内式ガス瞬間湯沸器 （都市ガス、LP ガス）				5	9	2	16 （ 0 ） ［ 0 ］
石油ふろがま				5 ［ 1 ］			5 （ 0 ） ［ 1 ］
石油給湯機			1 （ 1 ）	19 ［ 2 ］	31	1	52 （ 1 ） ［ 2 ］
密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機				1	2		3 （ 0 ） ［ 0 ］
浴室用電気乾燥機					1		1 （ 0 ） ［ 0 ］
ビルトイン式電気食器洗機				5 ［ 1 ］	3		8 （ 0 ） ［ 1 ］
合　計　事故件数 被害者数 火災件数	0 （ 0 ） ［ 0 ］	0 （ 0 ） ［ 0 ］	2 （ 2 ） ［ 0 ］	35 ［ 4 ］	54 ［ 0 ］	3 ［ 0 ］	94 （ 2 ） ［ 4 ］

（※7）平成 26 年 8 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

（４） 事故の使用期間別　事故発生件数

図３に「使用期間別 事故発生件数」を示します。

特定保守製品は、屋内式ガスふろがまや石油ふろがま等、住宅に設置される設備機器として比較的長期に使用される場合が多く、使用開始から 20 年以上経過して発生した事故も 25 件（26.9%）あります。

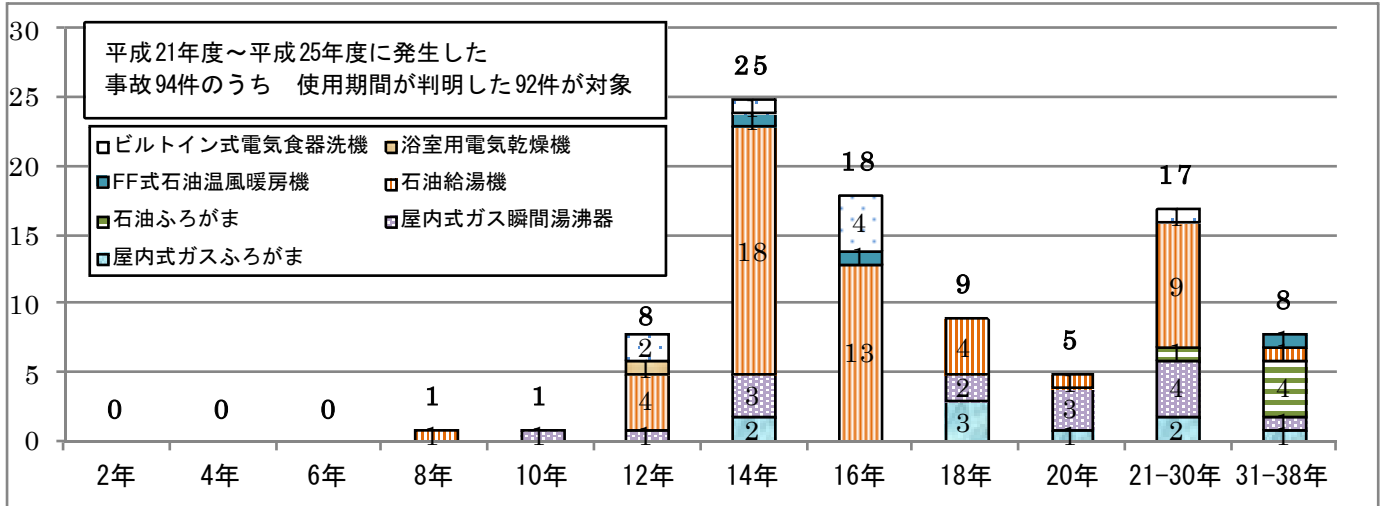



図３　使用期間別 事故発生件数

（５） 事故の製品別 事故発生年数及び損傷発生部位・要因

特定保守製品のうち、事故発生件数の多い石油給湯機（52 件）及び屋内式ガス瞬間湯沸器（16 件）について、図 4 及び図 5 に「製品毎の使用期間別事故件数及び損傷・劣化発生部位」を示します。

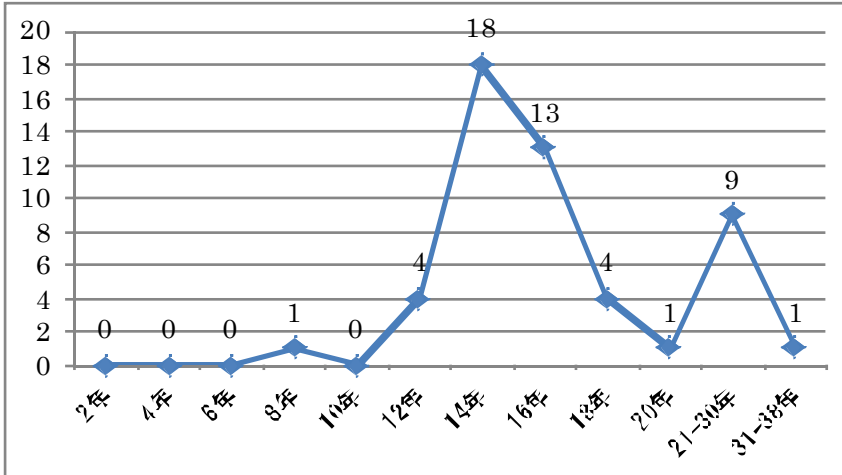
① 石油給湯機

劣化・損傷部位	件数
Oリング	35
灯油噴霧ノズル	3
バーナー先端部	1
熱交換器のフィン	3
電磁ポンプの弁ゴム	2
温度センサの保護管	2
缶体の炉材底部	1
電極	1
給水管	1
はんだ接続部	1
不明	2
	52

図 4 石油給湯機の使用期間別事故件数及び損傷・劣化発生部位

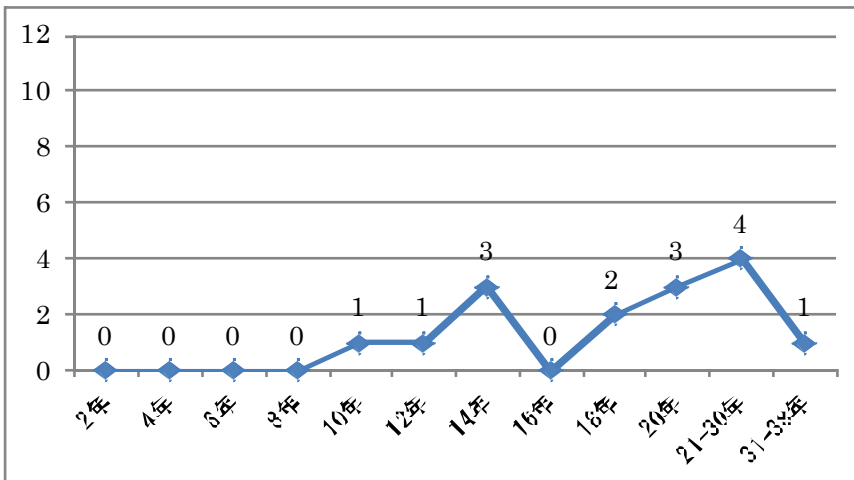
② 屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス・LP ガス）

劣化・損傷部位	件数
Oリング	7
バーナーノズル	1
バーナーの混合管	1
給気用ファンの羽根	2
バーナーケース蓋	1
前面パネルの給気口	1
ガス通路器具栓のグリス	1
ガバナのロッド	1
不明	1
	16

図 5 屋内式ガス瞬間湯沸器の使用期間別事故件数及び損傷・劣化発生部位

（６） 経年劣化による事故の現象別 被害状況

表 2 に「現象別 被害状況」を示します。

安全とあなたの未来を支えます

表 2　現象別 被害状況※8　（単位：件）

現象の内容	被害状況	人的被害 死　亡	人的被害 重　傷	人的被害 軽　傷	物的被害 拡大被害	物的被害 製品破損	被害なし	合計
屋内式ガスふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器	Ｏリングが劣化により硬化して、ガス漏れが生じて異常着火				2	5		7 （ 0 ） [0]
	すす､ほこり等がバーナー等に蓄積したため､異常燃焼やガス漏れが生じて異常着火			1 （ 1 ）	2	3		6 （ 1 ） [0]
	その他（ガスガバナ内のダイヤフラムに亀裂が入り、ガス漏れが生じてバーナーの炎に引火等）				1	9	2	12 （ 0 ） [0]
石油ふろがま、石油給湯機、	Ｏリングが劣化により硬化して、燃料漏れが生じて異常着火				10 [2]	25		35 （ 0 ） [2]
	すす、ほこり等がノズル等に付着し噴霧不良を生じ、未燃灯油が溜まって引火				3	2		5 （ 0 ） [0]
	その他（排気経路の亀裂等によって未燃灯油が溜まり引火、熱交換器がすすで閉塞し、排気熱が漏れた等）			1 （ 1 ）	11 [1]	4	1	17 （ 1 ） [1]
密閉燃焼（FF）式石油温風暖房機	屈曲によって送油ホースにひび割れが生じ、油漏れが生じた					1		1 （ 0 ） [0]
	その他（燃焼リングの変形等によって点火遅れが生じて未燃灯油が溜まり引火。送風機の回転不良で空気不足となり点火不良が生じて、滞留した未燃ガスに引火。）				1	1		2 （ 0 ） [0]
電気浴室乾燥機	温風吹き出し口の樹脂が熱劣化して変形					1		1 （ 0 ） [0]
ビルトイン式電気食器洗機	ドア開閉機構の破損により、内部接続線が断線してスパーク				4 [1]	2		6 （ 0 ） [1]
	ドア開閉の繰り返しで内部接続線に半断線が生じてショート				1	1		2 （ 0 ） [0]
合　　計	事故件数 被害者数 火災件数	0 （ 0 ） [0]	0 （ 0 ） [0]	2 （ 2 ） [0]	35 [4]	54 [0]	3 [0]	94 （ 2 ） [4]

（※8）　平成 26 年 8 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。 [ ] は火災件数
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

（７） 特定保守製品の長期使用に伴う経年劣化事故の事例

平成21年度～平成25年度までにNITEに寄せられた事故情報のうち、特定保守製品の長期使用に伴う経年劣化が原因と推定される事例を示します。

① 屋内式ガスふろがまのノズルに異物が詰まり、異常燃焼やガスが漏れて異常着火

平成23年12月31日（福岡県、年齢不明・男性、軽傷、使用期間約19年）

【事故の内容】

屋内式ガスふろがまの点火操作を繰り返したところ、漏洩したガスに引火してやけどを負った。

【事故の原因】

屋内式ガスふろがまの口火ノズル孔に異物の堆積が認められ、口火の炎が小さく、火移り遅れが確認された。長期使用によって口火ノズル孔が詰まり、火移り遅れが発生したことにより、器具内に滞留した未燃ガスに爆発的に着火し、水や湿気により腐食した前板に開いた穴から熱気が吹き出したものと推定される。

② 石油給湯機内部の電極間隔の拡大等によって未燃灯油が蓄積し、引火して焼損

平成23年5月26日（群馬県、年齢不明・女性、拡大被害、使用期間約27年）

【事故の内容】

石油給湯機を使用中、異常に気がつき確認すると、石油給湯機から発煙していた。

【事故の原因】

長期使用による電極間隔の拡大、バーナーノズルの噴霧不良による点火、燃焼不良から炉内に未燃灯油がたまっていた。温度調節器の可動切片の折損により燃焼が継続したため、石油給湯機が過熱し、炉内から周囲に漏れて気化した灯油に引火して焼損したものと推定される。

③ 石油給湯機のOリングが劣化により硬化して、燃料漏れが生じて引火、焼損

平成23年12月31日（滋賀県、製品破損、使用期間約12年）

【事故の内容】

石油給湯機を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、石油給湯機から出火していた。

【事故原因】

石油給湯機の電磁弁に使用されているOリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火して焼損したものと推定される。なお、この製品はリコール対象品であり、事業者による無償部品交換が行われている。

④ ビルトイン式電気食器洗機のドア開閉機構の破損により、内部接続線が断線してスパーク

平成24年8月29日（大阪府、拡大被害、使用期間約13年）

【事故の内容】

ビルトイン式電気食器洗機を使用中、周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

ビルトイン式電気食器洗機の長期使用により、ドア開閉レバーブロックの固定部が破損したことで、ドアに取り付けられたマイクロスイッチ端子部に接続するリード線に外力が加わり、断線・スパークが生じて、出火に至ったと推定される。

３．特定保守製品の長期使用に伴う経年劣化事故の防止

製品の長期使用に伴い、部品が劣化、損傷したり、すすやほこり等が蓄積したりすることによって、経年劣化による事故が発生するおそれがあります。

長期使用に伴う経年劣化事故を未然に防ぐためには、日常的な整備や長期使用製品安全点検制度に従った定期的な点検の実施が重要です。

（１） 長期使用製品安全点検制度に従った所有者情報の登録、点検の実施

特定保守製品の購入時に所有者登録※9 を行うと、製品毎に定められた「設計標準使用期間」が近づいた時に製造・輸入事業者から点検（有償）※10 の案内が届きます。

所有者登録を行うことで、点検等の案内を確実に所有者に届けるとともに、リコール情報等の製品安全に関するお知らせを通知することが可能となります。

製品を長く安全に使用していただくため、所有者登録を行っていただくとともに点検の実施を推奨します。

図 6　登録票の様式例

（※ 9）所有者登録は平成 21 年 4 月以降に製造・輸入された特定保守製品が対象です。
（※10）点検によって整備・修理が必要となった場合には、別途整備・修理費用が必要となります。

制度開始より前に製造・輸入された特定保守製品を使用している場合

平成 21 年 4 月以前に製造・輸入された特定保守製品に相当する製品についても、任意で受けられる製品点検の実施体制が整備されています。

対象製品や点検にかかる費用等は、製造・輸入事業者によって異なりますので、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者に相談してください。

（２） 日常的な整備による経年劣化事故の防止

長期使用に伴う経年劣化事故を未然に防止するためには、こまめに日常的な整備も重要です。製品に添付された取扱説明書の注意事故をよく読み、正しく使用するとともに、定期的に清掃を行う等、製品の保守に心がけてください。

使用期間が製品毎に定められた「設計標準使用期間」に近づいた時には、特に注意が必要です。

① こまめに清掃、保守を行う

製品の使用時には、取扱説明書の内容に従い、製品本体や周囲をこまめに清掃を行ってください。

清掃が不十分だと、すすやほこり、油汚れ等の異物が付着、蓄積して点火性の悪化（石油給湯機等）や給気不足（石油ふろがま）等、製品に不具合が生じるおそれがあります。

また、特に燃焼機器においては、異常燃焼や異常着火が生じて住宅火災や一酸化炭素中毒へと至るおそれがあるので注意が必要です。

② 次のような症状が見られる場合は使用を中止する

特定保守製品の使用時には、取扱説明書の内容に従い、製品の動作状態に注意を払ってください。

特に、運転中の製品から次の様な現象が見られるときは、事故に至る可能性がありますので、使用を中止し、お買い求めの販売店または製造・輸入事業者に相談してください。

［共通］

- ■ 異音がする
- ■ 焦げ臭いにおいなど異臭がする
- ■ スイッチを入れても反応しない等、動作に異常がある
- ■ 腐食や亀裂、変形など、外観に異常がある

［燃焼機器］

- ■ ガス漏れや灯油漏れが発生している
- ■ ガス臭、灯油臭等の異臭や、追い焚きに時間がかかる等の動作異常がある
- ■ 数回点火操作を行っても点火しない

※ 数回で点火できない場合は、漏れたガスに引火して異常着火するおそれがありますので、換気を行い、時間をおいてから再度点火してください。

【NITE が実施した過去の注意喚起・関連情報】

- ● 一酸化炭素中毒の事故防止（平成 25 年 11 月 28 日）
  http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs131128.html
- ● ガスふろがま及び石油ふろがまの事故の防止（平成 25 年 2 月 21 日）
  http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs130221.html

５．社告・リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造業者、販売業者等の事業者が行った社告・リコール情報を収集したデータベースを公開しており、特定保守製品の長期使用に伴う経年劣化事故の注意喚起等、製造・輸入事業者が実施した社告・リコール情報の検索を行うことができます。

平成 21 年 4 月以降に行われた特定保守製品の社告・リコール情報については、別紙 3 に記載しています。

http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php
検索サイトを利用する場合は、「NITE」、「リコール」等の単語で検索してください。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構　製品安全センター　所長　大福　敏彦
担当者　長田、池谷、西澤

○　記者説明会当日
電話：03-3481-6566　FAX：03-3481-1870

○　記者説明会翌日以降
電話：06-6942-1113　FAX：06-6946-7280

長期使用製品安全点検制度

「長期使用製品安全点検制度」は、特定保守製品の経年劣化による事故を未然に防止するための制度として、平成 21 年 4 月から施行されました。

この制度は、所有者自身による保守が難しく、長期使用に伴う経年劣化によって重大事故が発生するおそれが高い 9 品目の製品（以下「特定保守製品」といいます。）を購入した所有者に対して、製造・輸入事業者（以下「特定製造事業者等」といいます。）から点検実施の時期が来たときに案内を行い、点検などの保守を支援する制度です。

（１）長期使用製品安全点検制度の対象製品（特定保守製品）

特定保守製品は次の 9 品目です。

- 屋内式ガス用瞬間湯沸器（都市ガス用、LP ガス用）
- 屋内式ガスバーナー付きふろがま（都市ガス用、LP ガス用）
- 石油給湯機
- 石油ふろがま
- 密閉燃焼(FF)式石油温風暖房機
- 浴室用電気乾燥機
- ビルトイン式電気食器洗機

（２）製品情報の表示

平成 21 年 4 月以降に製造・輸入される特定保守製品は、「特定製造事業者等の氏名又は名称及び住所」「製造年月」「設計標準使用期間」「点検期間の始期及び終期」「点検その他の保守に関する問合せを受けるための連絡先」「製造番号などの特定保守製品を特定するに足りる情報」が表示されます。

（３）長期使用製品安全点検制度統一ロゴマーク

長期使用製品安全点検制度への理解を深めるため、特定保守製品の取扱説明書や所有者票、特定製造事業者等ホームページにおいて、上記のロゴマークが使用されています。

（４）点検実施の流れ

① 特定保守製品購入時の所有者登録

特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する責務があります。これによって、特定製造事業者等は、所有者に対して特定保守製品の点検時期や、特定保守製品の適切な保守に関する通知を行うことが可能になります。

② 点検通知の案内、点検の実施

所有者情報の提供を行った所有者に対して、点検期間※1 が開始する 6 か月前から点検期間開始日までの間に、点検通知が送られます。製品を安全に使用するため、必ず点検※2 を受けてください。

（※1）点検期間は、設計上の標準使用期間の終期を挟んで 1 年以上 3 年以内の幅をもって定められます。

（※2）省令別表第二で定められる点検基準に適合しているかどうかを確認するものであり、整備・修理等は含まれません。また、点検は有償です。

（５）制度導入の背景※3

平成 19 年 2 月の小型ガス湯沸器に係る死亡事故等、製品の経年劣化が主因となる重大な事故が発生しており、市場出荷後の製品につき経年劣化による事故を未然に防止するための措置の必要性が認識されるに至りました。

このため、第 168 回臨時国会において、「消費生活用製品安全法の一部を改正する法律（平成 19 年法律第 117 号）」が成立し、平成 19 年 11 月 21 日に公布され、消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の発生のおそれが高いものについて、経年劣化による製品事故を未然に防止するため、消費者による点検その他の保守を適切に支援する制度（長期使用製品安全点検制度）が設けられました。

改正後の消費生活用製品安全法（昭和 48 年法律第 31 号）は平成 21 年 4 月 1 日に施行されました。

（※3） 経済産業省「消費生活用製品安全法等に基づく長期使用製品安全点検制度及び長期使用製品安全表示制度の解説～ガイドライン～」より引用

【参考】

長期使用製品安全表示制度

長期使用製品安全点検制度と同時に長期使用製品安全表示制度が平成 21 年 4 月に施行されました。

長期使用製品安全表示制度では、特定保守製品 9 品目と比較して経年劣化による重大事故の発生確率は高くないものの、長期間使用されることが多い製品 5 品目（扇風機、換気扇、電気冷房機、電気洗濯機、ブラウン管テレビ）について、「製造年」「設計上の標準使用期間」を定めることが義務づけられています。

安全とあなたの未来を支えます

（６）所有者情報の登録状況※4

（※4）経済産業省　平成 26 年 6 月 30 日　産構審第 2 回製品安全小委員会資料「平成 25 年度製品安全政策に関する取り組み状況について」より引用

表　特定保守製品の所有者情報登録状況（平成 26 年 3 月時点）

	所有者情報登録累計件数（千件）（前年同期）		製造・輸入累計台数（千台）（前年同期）		登録率（%）（前年同期）	
屋内式ガスふろがま（都市ガス）	330	(267)	615	(510)	54%	(52%)
屋内式ガスふろがま（液化石油ガス）	61	(50)	189	(157)	32%	(32%)
屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス）	784	(627)	1,633	(1,321)	48%	(48%)
屋内式ガス瞬間湯沸器（液化石油ガス）	496	(395)	1,511	(1,243)	33%	(32%)
石油ふろがま	58	(47)	162	(135)	36%	(35%)
石油給湯機	731	(566)	1,854	(1,478)	39%	(38%)
密閉燃焼式石油温風暖房機	267	(198)	879	(683)	30%	(29%)
浴室用電気乾燥機	1,027	(746)	3,312	(2,513)	31%	(30%)
ビルトイン式電気食洗機	903	(659)	2,670	(2,045)	34%	(32%)
合計	4,657	(3,554)	12,826	(10,085)	36%	(35%)

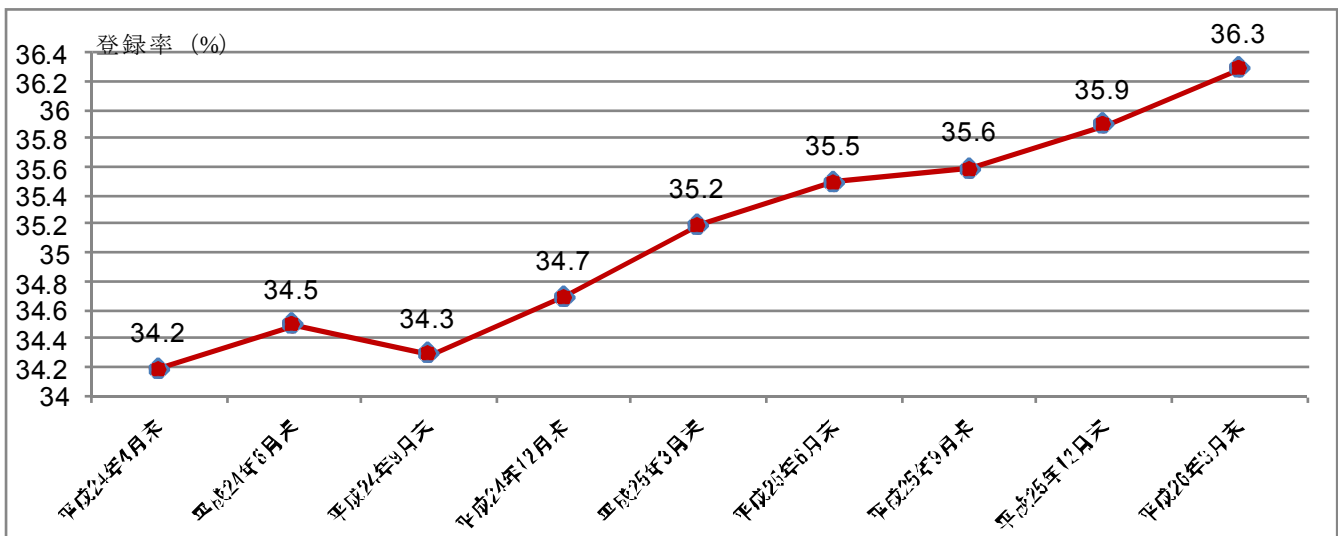



図　所有者情報の登録率の推移

（７）参考

- 「消費生活用製品安全法改正について」
  http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/shouan/07kaisei.html
- 「あなたは大丈夫？冬の製品事故」（政府広報オンライン）
  http://www.gov-online.go.jp/featured/201101/index.html

（別紙 2）

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品起因であるが、その原因が不明のもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3 は除く）	原因不明
	H	調査中のもの	調査中のもの

（別紙 3）

平成 21 年度以降に NITE に通知された長期使用製品安全点検制度の対象製品 9 品目の社告・リコール情報（修理・施工不備によるものや注意喚起を含む）について、以下の表に示します。

社告・リコール一覧

公表日	品名	事業者名	概要
2013/03/07	ガスふろがま、ふろがまバーナ、ガスストーブ	株式会社世田谷製作所	※　2007 年 4 月 19 日にホームページ上で行った社告の再社告 ［製品名及び型式］ ふろがま ①　株式会社　世田谷製作所 R38B、R137B、CS31B、CS32B、CS33B、FE15 ②　株式会社　オカキン OK-AR 型-LE（※1）、OK-BR 型-LE（※1） ③　東京ガス株式会社 ST-913RFA（※2）、ST-912RFB シリーズ（※2）、ST-9150CFS（※2） ④　株式会社　ハーマン YF702（※2） ※1 は株式会社　世田谷製作所の対象ふろバーナを供給。 ※2 は株式会社　世田谷製作所 OEM 品。 ふろがまバーナ 株式会社世田谷製作所 TA-097UET、TA-270UET、TA-OK270UET ガスストーブ 株式会社　世田谷製作所 GS-1 ［URL］http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/
2012/12/07	食器洗い乾燥機	GE Appliances Asia, Ltd(GE)	［製品名及び型式］ ブランド名：GE　モデル番号：GLD5,GLD6 シリアル番号：FL、 GL、HL、LL、ML、VL、ZL、AM、DM、FM、GM、HM、LM、MM、RM、SM、TM、VM、ZM、AR、DR、FR、GR ［URL］http://www.ge.com/jp/announcements/rcl_dec7_12.html
2012/08/24	食器洗い乾燥機	リンナイ株式会社	［製品名及び型式］ ①　ブランド：Rinnai（リンナイ） 機種： RKW-V45A、RKW-V45A-SV、RKW-V45A-G、PRKW-V45A、PRKW-V45A-SV RKW-458C、RKW-458C-SV、RKW-458C-G、RKW-458C(A)、RKW-458C(A)-SV、RKW-402A、RKW-402A-SV、TKW-402A、TKW-402A-SV、RKW-C401C、RKW-C401C-SV、RKW-C401CSA、RKW-C401CSA-SV ②　ブランド：Clean▲up（クリナップ） 機種：CWPR-45B, CWPR-45BS ③　ブランド：Takara standard（タカラスタンダード） 機種：TKW-V45A、TKW-V45A-SV ［URL］http://www.rinnai.co.jp/safety/safety/2012/0824/

公表日	品名	事業者名	概要
2011/08/01	石油給湯機	長州産業株式会社	※2002年10月24日に行った社告の再社告 ［製品名及び型式等］ 石油直圧式給湯機 PDF-321V/PDF-401A/PDF-411D-A/DX-411D/PDX-321V/PDX-411D [URL] http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=8
2011/07/12	電気式浴室換気乾燥暖房機	マックス株式会社	［製品名及び型式］ 浴室換気・乾燥・暖房機 機種：BS-131SHY ［URL］ http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/news.html?topics_no=240
2011/06/22	密閉式（BF式）ガスふろがま（電池式）	（製造）株式会社ガスター東京ガス株式会社（販売）大阪ガス株式会社（販売）リンナイ株式会社（販売）株式会社長府製作所（販売）	［製品名及び型式］ ① YUMEX（ガスターブランド）：都市ガス仕様・LPG仕様 SR-ASN-***(シャワー付き)/SR-ASBN-***(シャワー付き)/ SR-A60SN-***(シャワー付き)/SR-A60SB2N-***(シャワー付き)/ SR-A60S2N-***(シャワー付き)/SR-A80SN-***(シャワー付き)/ SR-A80S2N-***(シャワー付き)/ER-ASN-***(シャワーなし) ② 東京ガスブランド：全機種都市ガス仕様 KG-806BFOシリーズ(シャワー付き)/KG-706BFOシリーズ(シャワー付き)/KG-808BFOシリーズ(シャワー付き)/KG-912BFDシリーズ(シャワーなし)/KG-912BFBシリーズ(シャワーなし) ③ 大阪ガスブランド 531-R940～R945 （給湯・シャワー付き/都市ガス仕様）531-R952、R953、R962、R963（おふろ沸かし専用/LPガス仕様）・ ④ リンナイブランド：都市ガス仕様・LPG仕様 シリーズ名RBF-A3***(シャワー付き)/RBF-A60S***(シャワー付き)/ RBF-A70S***(シャワー付き)/RBF-A80S***(シャワー付き)/ RBF-AS***(シャワー付き)/RBF-AERS***(シャワーなし) ⑤ 長府製作所ブランド：都市ガス仕様・LPG仕様 BFS-638S、858S(シャワー付き)、BF-108S(シャワーなし) [URL] http://www.gastar.co.jp/news/pdf/20110622-1.pdf

公表日	品名	事業者名	概要
2011/06/02	食器洗い乾燥機	パナソニック株式会社（旧松下電器産業株式会社）	［製品名及び型式］ ① ブランド：National 販売元：(ナショナル）松下電器産業(株)（現社名：パナソニック(株)） 品番：NP-3000BP /NP-3000BW/NP-3000（フロアータイプ）/NP-U30A1P1 ② ブランド：本体にブランド：表示なし 品番：NP-3000BP-0/NP-3000BW-0/NP-U30A1P1AA ③ ブランド：OSAKA GAS 販売元：大阪ガス(株)・品番：38-405 ④ ブランド：Cleanup 販売元：クリナップ(株)・品番：CWFM-301S /CWFM-30A ⑤ ブランド：sunwave 販売元：サンウエーブ工業(株)・品番：SW-3000 /MSW-3011 ⑥ ブランド：Takara standard 販売元：タカラスタンダード(株）・品番：TDW-3000BP /TDW-3000BPN ⑦ ブランド：TOKYO GAS 販売元：東京ガス(株)・品番：MA-D301 ⑧ ブランド：TOSHIBA 販売元：(株)東芝、東芝設備機器(株)（現社名：東芝ホームアプライアンス(株)）・品番：BDW-530UP ⑨ ブランド：TOTO 販売元：東陶機器(株)（現社名：TOTO(株)） 品番： BMW30/KNMW030/KUMW035/KUMW036 [URL] https://sec.panasonic.co.jp/ap/info/ssl/dishwasher/doc201105.html
2011/04/12	電気式浴室換気乾燥暖房機	TOTO 株式会社	※2007年7月9日に行った社告の再社告 ［製品名及び型式等］ 電気式浴室換気乾燥暖房機 EKK401、EKK411、EKK411N1 ［URL］ http://www.toto.co.jp/News/yokukan/index.htm
2011/04/11	電気式浴室換気乾燥暖房機	三菱電機株式会社	※2007年3月13日に行った社告の再社告 ［製品名及び型式］ V-100BZE-KT、V-106BZ2、V-106BZ3、V-130BK-RN、V-130BK2-RN、V-130BK2-RN-1、WD-100BND、WD-100BZE-SK、WD-100BZE-SK2、WD-100BZE2-SK2 ［URL］ http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/20110511/

安全とあなたの未来を支えます

<table>
<tr><th>公表日</th><th>品名</th><th>事業者名</th><th>概要</th></tr>
<tr><td>2009/09/01</td><td>石油給湯機</td><td>長州産業株式会社</td><td>［製品名及び型式］
石油小型給湯機
<table>
<tr><th>本体型式</th><th>台所リモコン型式</th><th>浴室リモコン型式</th></tr>
<tr><td>IX-471DH</td><td>RC-80M</td><td></td></tr>
<tr><td>JX-411DG</td><td>RC-80M</td><td></td></tr>
<tr><td>MX-471DG</td><td>RC-80M</td><td></td></tr>
<tr><td>MX-471DH</td><td>RC-80M</td><td></td></tr>
<tr><td>PX-411DG</td><td>RC-80M</td><td></td></tr>
<tr><td>YX-371D</td><td>RC-80M</td><td></td></tr>
</table>
石油給湯機付ふろがま
<table>
<tr><th>本体型式</th><th>台所リモコン型式</th><th>浴室リモコン型式</th></tr>
<tr><td>IF-471DH-A</td><td>RC-82M</td><td>RC-82A</td></tr>
<tr><td>JF-411DG</td><td>RC-81M</td><td>RC-81F</td></tr>
<tr><td>JF-411DG-A</td><td>RC-82M</td><td>RC-82A</td></tr>
<tr><td>MF-471DH-A</td><td>RC-82M</td><td>RC-82A</td></tr>
<tr><td>PF-411DG</td><td>RC-81M</td><td>RC-81F</td></tr>
<tr><td>PF-411DG-A</td><td>RC-82M</td><td>RC-82A</td></tr>
</table>
[URL]
http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=5</td></tr>
<tr><td>2008/07/22</td><td>電気式浴室換気乾燥暖房機</td><td>株式会社INAX</td><td>※2007年1月11日に行った社告の再社告
［製品名及び型式］
UH-1A、UH-2A、UH-2B、UH-2A-L、SH-1A、V-100BZ4-IX
［URL］
http://tostem.lixil.co.jp/oshirase/drier_3/?_ga=1.140148976.210531201.1413971003</td></tr>
</table>